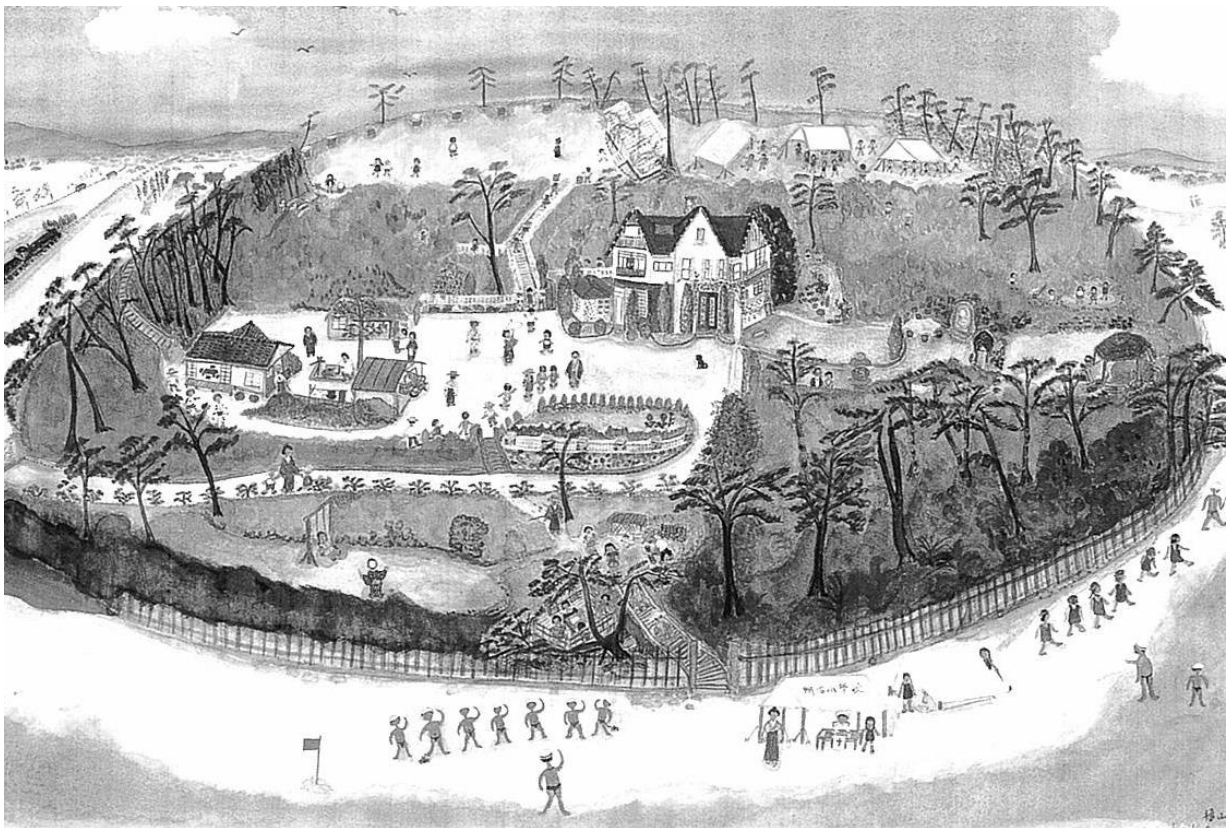


ろざんそう 第12回 櫓山莊子ども俳句大会表彰式

櫓山莊公園には、櫓山莊という洋風の建物が建っていました。大正9(1920)年に小倉に住んだ実業家橋本豊次郎が建築したものです。当時の俳句界の中心人物であった高濱虚子を招いて櫓山莊で俳句の会が開かれました。小倉の俳人杉田久女も出席しており、その会で豊次郎の妻橋本多佳子は、俳句のすばらしさを知ることになります。後に、この二人は、俳句の世界において大きな業績を残し、近代女性俳句の源流と評価されています。

櫓山莊はなくなりましたが、櫓山莊で出会い、俳句の世界に大きな足跡を残した杉田久女、橋本多佳子を記念して「櫓山莊跡」の碑が、平成15年秋に建設されました。櫓山莊やそこにまつわる文化や歴史を知ってほしいとの思いから、平成17年から始めたのが、櫓山莊子ども俳句大会です。



昭和初期の櫓山莊

原画 東郷啓子氏 (俳人 橋本多佳子の三女)

日時：平成28年10月22日(土)
会場：櫓山莊公園 (小倉北区中井浜)

表彰式次第

- 1 アトラクション アンデスの民族音楽 SAMAY (サマイ)
- 2 主催者あいさつ 檜山荘子ども俳句大会実行委員会
会長 石川 一步 (北九州俳句協会会長)
- 3 来賓あいさつ 北九州市長 北橋 健治
- 4 表彰状授与
- 5 講評 福岡県俳句協会会長 岸原 清行
- 6 記念撮影

特別賞

大賞

浜木綿の向こうに見える波津の海

内浦小学校 6年 廣渡 蛍花

北九州俳句協会会長賞

大好きな祖父の笑顔に会える盆

広徳中学校 2年 平倉 里李香

文学館館長賞

地を出でし歓喜の声や蝉しぐれ

富野小学校 6年 瀬川 雄一朗

小倉北区長賞

天の川夜空にかかる銀の橋

葛原小学校 6年 肥後 龍生

教育委員会賞

球児らの汗と涙は青春だ

大谷中学校 2年 伊東 奈那

小倉北区自治総連合会会長賞

飛ぶ鳥も落ちてきそうな残暑かな

折尾西小学校 6年 中山 結

杉田久女賞

春の空希望を胸に今はばたく

岡垣中学校 1年 石井 沙季

橋本多佳子賞

法隆寺世界最古の影涼し

引野中学校 3年 川田 大翔

公益財団法人芳賀文化財団賞

夏休みたいくつそうなランドセル

折尾西小学校 6年 境田 航希

西日本新聞社賞

なつやすみ野球だプールだゆうやけだ

清水小学校 5年 内本 大翔

石川 一步 選

山の木が紅く染まった櫓山荘	北小倉小学校	6年	八田 歩輝
ひがなばな花火のようにさきほこる	葛原小学校	6年	廣津 智朗
つばめの子帰ってこいよふるさとに	曾根東小学校	5年	河野 未咲
夕焼けに空も心も染まってく	長尾小学校	6年	藤丸 温
ひまわりはお花畑の太陽だ	永犬丸西小学校	5年	窪田 里菜子
盆踊り一人残らず輪になって	山田小学校	6年	八色 絢音
夢のためかく汗なにより美しい	思永中学校	1年	坂本 晃大
こんがりと焼けた肌には夏の印	思永中学校	1年	木村 瑠那
水の音夏の暑さをはね返す	思永中学校	3年	竹本 光希
炎天下なみだ流した市長杯	守恒中学校	1年	白川 真里亜
滝の音森の奥から誘ってる	大谷中学校	1年	小嶽 朱温
ふまれてもタンポポの花立ち上がる	岡垣東中学校	1年	脇田 泰雅

岸原 清行 選

まどべからただよう香り金木犀	葛原小学校	5年	井上 更紗
成田山霧のぼうしをかぶってる	内浦小学校	6年	一ノ瀬 颯真
ぶかぶかと泳ぐクラゲは海の星	門司中学校	2年	河邊 颯桜
汗流し絆深まる学校行事	柳西中学校	2年	奥田 侑聖
赤とんぼ夕日の中をとんでいく	柳西中学校	2年	柿本 楓奈
夕焼の町に響く太鼓の音	思永中学校	1年	上田 伸郷
花火咲く夜空に一つまた一つ	思永中学校	2年	岩益 若菜
ひまわりと私の心が空あおぐ	思永中学校	3年	古田 晶
太陽とみんなの気迫でもえる山車	篠崎中学校	2年	原田 唯希
涼風が水辺を渡る四万十川	守恒中学校	3年	平塚 元堂
盆踊り遠のいてゆく祖母の背よ	熊西中学校	2年	中原 祥
麦の秋私のはだもこがね色	大谷中学校	1年	中 麻理菜

坂井 愛子 選

入道雲見ているうちにわたあめに	井堀小学校	6年	松永 理花
せみの声小さくなると秋そこに	北小倉小学校	6年	木多良 晴
宿題とセミにも負けぬ母の声	富野小学校	5年	宮本 りんな
焼さんま口に広がる海の味	葛原小学校	5年	下田 真大
夕焼けに向かってリレーとんぼ達	折尾西小学校	6年	田崎 みなみ
竹を切りとうろう作る地ぞうぼん	吉木小学校	6年	岩田 慎ノ介
来年は花火のようにはじけたい	松ヶ江中学校	1年	中野 明星
関門の夜空をいろどる大花火	門司中学校	2年	金藏 優希
爽やかな君の笑顔は夏蜜柑	篠崎中学校	2年	今村 七菜
子は寝てもうちわは動く母の手よ	熊西中学校	2年	池田 陸人
人の影ゆらゆらゆらぐぼんおどり	引野中学校	2年	伊藤 康晟
アメンボが金閣揺らす水面かな	引野中学校	3年	手銭 莉子

応募していただいた学校

【門司区】萩ヶ丘小学校、松ヶ江中学校、門司中学校、柳西中学校
【小倉北区】到津小学校、井堀小学校、今町小学校、北小倉小学校、清水小学校、霧丘小学校、
富野小学校、思永中学校、篠崎中学校、白銀中学校
【小倉南区】葛原小学校、曾根東小学校、田原小学校、長尾小学校、広徳中学校、曾根中学校、
東谷中学校、守恒中学校
【八幡東区】花尾中学校
【八幡西区】永犬丸西小学校、折尾西小学校、黒崎中央小学校、熊西中学校、引野中学校
【戸畑区】大谷中学校
【岡垣町】内浦小学校、海老津小学校、戸切小学校、山田小学校、吉木小学校、
岡垣中学校、岡垣東中学校

今回、小学校20校、中学校16校の3, 712名の児童生徒の皆さんから応募をいただきました。
どうもありがとうございました。

ろざんそう ひきじょ たかこ 櫓山荘と杉田久女、橋本多佳子



久女の句

餅こぼまして山ほととぎすほしいまま（日本新名勝俳句金賞句）
花衣はなころもぬぐや纏まつわる紐ひちいろいろ

●杉田久女

明治23（1890）年～昭和21（1946）年
お茶の水高等女学校卒業後、明治42年
旧制小倉中学（現小倉高校）の図画教諭
杉田宇内の妻として移り住む。大正5年
兄の手ほどきで句作を始め、昭和6年には
日本新名勝俳句で全国10万余句の中か
ら金賞を射止める天性の才能を發揮した。



多佳子の句

乳母うばぐるま車夏の怒涛どとうによこむきに
いなびかり北よりすれば北を見る

●橋本多佳子

明治32（1899）年～昭和38（1963）年
大正6年橋本豊次郎と結婚、大正9年櫓山
荘を新築し小倉に移り住む。杉田久女に俳
句の手ほどきを受け、「ホトトギス」に投句。
昭和4年に大阪に移り、山口誓子に師事し
「馬酔木」同人となる。昭和25年「七曜」
主宰となる。

主催：櫓山荘子ども俳句大会実行委員会

北九州俳句協会 北九州市立文学館
北九州市教育委員会 北小倉校区自治連合会
久女・多佳子の会 小倉北区役所総務企画課

協力：岡垣町教育委員会 公益財団法人芳賀文化財団
北小倉市民センター

後援：西日本新聞社